

16.4.10分野別団体ヒアリング(子ども・教育)

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
A	境幼稚園	境幼稚園は理念そのものの教育をしている。新しい施設ができると聞くがもっと素晴らしい施設にして欲しい。
B	障害児	武蔵野市は何年か前に学童クラブにいた障害児を杉並に追い出しておりノーマライゼーションが進んでいるとは言えない。策定委員はそういった情報を得ての評価か。
C	新公共施設	農水跡地に図書館をつくる際には、対面朗読室、テープの録音室を作って欲しい。
D	学童保育	学童保育を2人の母親が人を雇って毎日行なっている。ノウハウを提供したい。場所は学校施設を開放してほしい。
	障害児	計画に障害児の項目を大きく立てて欲しい。また役所の横のつながりができる様に仕組みづくりをして欲しい。
E	保育園	日赤の循環医が、今は年に2回きているが多くの回数を望みたい。 発達の遅れを早期発見するための乳幼児健診。 専門知識をもつ指導員を保育園・幼稚園・学童クラブへ。 病院や専門機関と連携して自立できるシステムを。
F	保育園の職員体制	「公立保育園改革計画」に基づく新規の事業として、保育園全園で障害児を受け入れることは評価できるが、反面、正規の職員数が削られている。そのような体制でやっていけるのか疑問だ。
	学童保育	障害児は保育園を卒園してから学童クラブに入れない。一貫性のあるものとして欲しい。入所児を4年生まで延ばすことも検討課題だ。
	保育園の職員体制	障害児の早期発見、療養とともにボーダーライン上の子どもが増えている。これらの子どもに対し、職員を削ったり、パート、アルバイトによる対応ではどうなのか。それを認めたととしても、正規職員と同等の教育・研修をして欲しい。
G	地域の人材育成	市民パートナーシップのためには中心となって働く人たちを作ることが必要である。まちづくりは人づくりであり、ボランティアセンターなども活動の工夫をすべきだ。
	開かれた学校づくり	開かれた学校づくりも武蔵野市は先進的に行ってきたが、今のままではもったいない。10年を見据えて議論すべきだ。
H	地域の出会いの場・仲間づくり	これからの子育てには、新たな地域社会を作り上げなければならない。そのためには出会いの場が必要であり市がリードして欲しい。孤独なお母さんの仲間作りの進む場を作って欲しい。
I	語り手の場・育成	毎月1回図書館で語りを行っているが、学校の中にもそういう場を作って欲しい。また、図書館を中心として語り手の養成講座と発表の場が欲しい。
J	私立幼稚園/公・私立幼稚園と保育園の予算配分バランス	私立幼稚園は地域を支える柱の一つだ。一定の地域に億単位の公的資金が流れていくのは、公費の格差も含め問題とならざるを得ない。保育所との公費の格差も大きい。配分を考えて欲しい。

16.4.10分野別団体ヒアリング(子ども・教育)

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
K	青少年の読書に結びつく運動/新公共施設	武蔵野市はブックスタートや読書の動機付けを行っているが、これを超えるような運動を展開すべきではないか。具体的にはオーサービジット方式だ。 農水省跡地の計画に小中高校生の活動の場を取り入れて欲しい。生涯学習の拠点としても渴望する。
L	生涯学習団体への支援	コミセンの会場予約、市報掲載、市民会議室利用料、講師代など、高齢者支援というなら、もっとしっかり支援をして欲しい。
M	境幼稚園	境幼稚園の保育は父母に媚びず、子どもの育ちという観点から運営されている。公立幼稚園ならではの成果もあり、モデル園として全市に利益を還元している。また、その中で親も育てられており、地域へ人材も還元している。廃園は納得いかない。
N	境幼稚園	市民サービスと言うがどこまで市民の声を聞いているのか。市民の声を聞くのなら、本当に聞く姿勢をとって欲しい。
O	まちの安全対策	中学生高校生についてだが、繁華街は明るくても路地の照明が暗い。明るくして欲しい。
	国際交流	言語とは国際交流のことと思う。ホームステイで泊まれるような施設などが必要だ。
P	武蔵野赤十字保育園の施設整備	武蔵野赤十字保育園の乳児定数は増えたが、新築した建物に不備があった。このようなことがあってよいのか。
Q	子育て支援施策への予算配分	教育にはお金が掛り、効率化が一番相応しくない。市だけでできないのなら都や国に働きかけるよう言うべきだ。効率化を図って内容を充実させることなどできない。
R	「食」への取り組み	子どもにとっての食事の大切さが書かれているが、保育園の給食は大切だ。調理の嘱託化により職員がじっくりかわりになれないことに不安がある。人員配置をお願いしたい。